



MAR 23th

17号

電子機械科 NEWS

Systems Engineering Mechanical & Electrical

ともかく
生かされてはいる
雑草の中
山頭火

益田翔陽高等学校

ともかく 生かされてはいる 雑草の中

■選抜高校野球に翔陽高校が21世紀枠で初出場して7年が過ぎる。その年の行進曲は東日本復興応援歌「花が咲く」。キャプテンのN君を先頭に憧れの甲子園を元気よく行進して行ったことをこの時期思い起こす。

■このとき出場した電子機械科新3年生は6名。よく甲子園に出場すると人生が換わると言われるが、ともかく出場後の彼らの1年間は、校内・電子機械科のリーダーとして動き、その相乗効果は科全体に広がった。

■キャプテンが、壮行式でも報告会でも強調していた言葉が

「感謝」であった。



●開会式は 学校でテレビで観戦（視聴）

種田 山頭火

●毎回、紙面右上に使わせてもらった句は種田山頭火（たねだ さんとうか）氏のうたです。たぶん中学校・高等学校の国語の教科書にも載っていると思います。筆者が彼の句に出会ったのも高校時代。それが教科書だったかどうかはよく覚えていませんが、

・「ふくろうは ふくろうで わたしは わたしで 眠れない」・に出会った時、思わず吹き出しそうになりました。何人かの生徒に紹介しましたが、同じ気持ちになった生徒には出会えませんでした。

●彼は山口県防府出身で近隣の県で親近感もあり、金子みすゞ 中原中也 と併せ、詩集とか句集をもとめ読みました。

・・・・いくつか覚えている句を紹介します。筆者は単純ですので何度もここで使ったと思います。

興味が湧けば図書室に 「山頭火全集」「草木塔」などがあります・・・

しずけさの中 竹の子 竹になった	あざみ あざやか あさの あめあがり
きぬぎぬの 金魚が 浮いて死んでいる	うしろ姿の 時雨れて ゆくか
なんぼう考えても おんなじことの 落ち葉踏み歩く	分け入っても 分け入っても 青い山
蜘蛛は網はる わしは 私を肯定する	あの雲が 落とした雨に ぬれていく

●さて、山頭火は最期の日記に「なんとなく感謝、慎みの心が湧く、感謝・感謝。感謝は誠であり信である。誠であり信であるが故に力強い。力強いが故に忍苦の精進ができるのである・・・」と書いている。

■私も時々なんとなく感謝している。元気であることへの感謝、食べられることへの感謝、仕事・勉強できることへの感謝、妻への感謝、逝った父母への感謝、子・孫への感謝、姉兄への感謝、友人への感謝、生かされていることへの感謝です。

S科NEWSは今回でしばらくお休みです。

ありがとうございました。